



彩の国21世紀郷土かるた宮代大会を開催しました

令和6年1月21日(日)、百間小学校体育館にて「彩の国21世紀郷土かるた宮代大会」を開催しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から個人戦のみの再開ではありましたが、今年度は、団体戦も再開することができました。

当日はあいにくの雨模様。大会直前まで雪予報が出るくらい外は寒かったのですが、体育館の中の選手たちには関係なし。選手一人ひとりの研ぎ澄まされた集中力、札を巡る緊迫感あふれる雰囲気、会場内では、個人戦(10人)、団体戦(15チーム)〈全エントリー人数:67人〉による熱き戦いが繰り広げられました。



個人戦と団体戦ともに、優勝~4位までの選手は、2月11日(日)に蓮田市総合市民体育館パルシーにて開催された埼葛北大会に出場し、団体戦では優勝、個人戦では準優勝するなど好成績を収めました。また、町大会の優勝、準優勝の選手は、3月10日(日)に日高市文化体育館ひだかアリーナにて開催された県大会にも出場し、団体戦では第3位という好成績を収めました。

問合せ 生涯学習・スポーツ振興担当 内線433・434

子供たちへの贈り物

アメリカのメジャーリーグ、ロサンゼルス・ドジャース所属の大谷翔平選手から子供たちに「贈り物」が届きました。全国の小学校約2万校に各校3個ずつ、計6万個のグローブが寄贈されました。グローブは右利き用のグローブが大小1つずつ、左利き用のグローブが1つと、子供たちの使用への気遣いがありました。宮代町にも小学校4校、計12個のグローブが子供たちに寄贈されました。始業式で紹介され、順番に各教室で子供たちが手に触れて感触を確かめました。その後キャッチボールを楽しみました。

子供たちの様子

寄贈されたグローブ



【大谷選手からのメッセージ】※一部抜粋  
私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。 野球しようぜ。

大谷選手からグローブを通して「夢」や「勇気」についてメッセージを送っていただきました。大谷選手の優しさや謙虚さが子供たちに伝わるメッセージでした。子供たちは届いたグローブに「本物だ」「サインがある」「使っていいですか」など驚きと喜びの声をあげていました。

## 【郷土資料館からのお知らせ】

開催中

令和5年度  
第3回企画展

### 土器でみる一万年 宮代の縄文



3月9日より資料館特別展示室にて令和5年度第3回企画展「土器でみる一万年 宮代の縄文」が開催中です。

縄文時代は今から約15,000年以上前、土器の出現とともに始まり、その後10,000年以上続いた時代です。縄文時代と一括りにいっても、その文化や環境は時代とともに大きく変化しました。そうした縄文時代の様相は、遺跡から発見される品々（遺物）から垣間見ることができます。土器、土偶、耳飾りなどの装飾品、石器などの遺物は縄文人の衣食住だけでなく、精神構造や信仰といったことも私たちに教えてくれます。特に土器は時代を表す指標として最も多く研究され、現在でも続けられています。

本企画展では宮代町内の遺跡から出土した多種多様な土器を展示します。一万年の縄文時代を、土器を通してご覧ください。ご来館をお待ちしています。



日 時：3月9日（土）～7月7日（日）  
9時30分～16時30分  
〔休館日〕月曜日  
\*月曜が祝日の場合はその次の平日  
\*詳細はHPをご覧ください。  
会 場：宮代町郷土資料館1階特別展示室

### 歴史講座を開催

令和6年3月17日(日)、3月24日(日)に歴史講座「縄文土器からみるヒトと社会」を開催しました。

今年度は、2日間にわたる内容の異なる講座となりました。

1日目は、青木秀雄氏(宮代町郷土資料館 発掘調査員)による、町内で発掘された資料を基に縄文時代の習俗や土器の文様についての解説がおこなわれました。

2日目は、細田勝氏(元埼玉県埋蔵文化財調査事業団)が、縄文時代中期に土器が勝坂式土器から加曽利E式土器へと変わっていった背景に注目し、当時のヒトと社会を解説してくださいました。

参加された皆さまの熱心な様子が随所にみられ、大変充実した講座となりました。



### 資料館グッズ 大好評頒布中

宮代町で発掘された縄文土器(後期・称名寺式土器)のA4クリアファイルと、今年で開館30周年を迎える資料館をロゴにしたトートバッグを頒布しています。

トートバッグは厚手でマチ底なので、本を入れても角がよれにくいです。

お求めは  
資料館・町ホームページにて!



問合せ:34-8882(郷土資料館直通)

## 浦和レッズハートフルクラブサッカー教室を開催しました！

令和6年1月27日(土)、宮代町総合運動公園メインアリーナで「浦和レッズハートフルクラブサッカー教室」を開催しました。この教室は、子供たちが様々なスポーツ種目を体験することで、スポーツの楽しさを知ってもらうことを目的とした「あそびと運動」の事業の一環で実施しています。今回は、町内小学1~3年生の15名が参加しました。参加者は、浦和レッズハートフルクラブのコーチ4名からの指導により、体を動かすことの楽しさや、仲間と共にプレーするおもしろさなどを、サッカーを通して教わりました。サッカーの経験者も未経験者も、みんな一緒になって楽しそうに参加していました。教室の最後には、ハートフルクラブのコーチから参加者へ素敵なプレゼントがあり、受け取った参加者はとても嬉しそうにしていました。



狙いを定めてシュート!!



ゴールを決めたらチームでハイタッチ!!  
チームみんなで喜び合います。



ハートフルクラブコーチとの集合写真



←HPの記事はこちら

ニュースポーツを知って！体験！

## 大人のスポーツフィールドに参加しませんか？

大人のスポーツフィールドは、「最近運動不足かな…?」と思われる方々を対象に、宮代町スポーツ推進委員の指導のもと、運動を行う機会を提供する教室です。この教室では主に「さいかつぼーる」を中心としたニュースポーツを行います。ニュースポーツとは20世紀後半に考案されたスポーツで、年齢などにかかわらず、誰でも楽しめるスポーツです。「さいかつぼーる」のほか、状況に合わせてミニテニス、ポッチャなどを行います。

令和6年1月20日(土)の大人のスポーツフィールドでは17名が参加し、「さいかつぼーる」とミニテニスを、2月17日(土)では17名が「さいかつぼーる」とモルクを体験しました。初心者も経験者も年齢も関係なく、みなさん声を出し、汗を流して盛り上がりました。令和6年度も毎月1回程度開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



「さいかつぼーる」の様子



ミニテニスの様子

### 「さいかつぼーる」はどんな競技？

「さいかつぼーる」は、「フラバール」という競技をもとに、平成20年に宮代町を含む埼玉県東部の埼玉葛地区で考案されたニュースポーツです。ルールはバレーボールに似ていますが、相手チームからの返球は、ワンバウンドさせてからレシーブしなければいけないところがポイントです。おにぎり型のボールが予期せぬ方向に転がることも楽しみのひとつとなっています。初心者も経験者もみんな一つになって楽しめる競技です。



チームでボールをつなぎます！



過去の「さいかつぼーる」  
関連記事はこちらから！

# 小中学校の適正配置に関する取組について

## シンポジウム・ワークショップを実施しました

令和5年9月24日(日)須賀小学校の再整備について、住民の皆様により理解を深めてもらうことを目的として有識者シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、愛知県新城市作手小学校について実際に設計をした建築士から、北海道安平町早来学園について開校に関わった安平町教育委員会の職員から先進地事例を紹介後、簡単なミニワークショップを開催しました。

参加者から、「学校を未来につながる学校にするという言葉に感銘を受けました」などの感想がありました。

10月から12月までの間に計3回、基本計画の策定に住民の皆様のアイディアを活かすことを目的として、市民ワークショップ「どんぐりとピアノ ～はじまり、はじまり会議～」を実施しました。

多くの方々に御参加いただき、参加者の半数の方々には第1回目から第3回目まで継続して参加をしていただきました。

参加者からは、「自分たちの意見が反映されて楽しさを実感しました。今後、形になっていくのかと思うとワクワクします。」などの感想がありました。



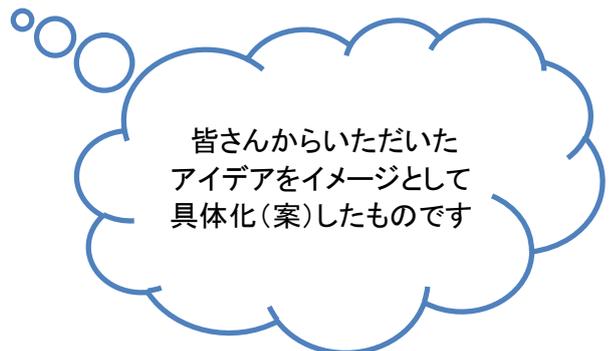
ワークショップの様子



シンポジウムの様子

目指すべき地域拠点施設のイメージ

「まちの中にある学校 地域とともにある学び舎」



## 令和6年度の取組について

令和6年度は、須賀小学校地域拠点施設の設計業務に取り組む予定です。

須賀小学校の再整備の取組についての詳細は、引き続き広報・町ホームページ等でお知らせいたします。

問合せ 教育総務担当 内線425、426